

分子推定

高校2年生～3年生向け

プレイ人数 2人 プレイ時間10分

【ゲーム開始前の準備】

1. 次のような「属性アイコン」が示された Labo カードのみを使用する。



使用しないカードは箱に入れておく。

2. 分子カード、Labo カードの山札をシャッフルし、指定された所に置く。
3. プレイヤー1は、ロール（役割）として、【化学者】となり、Labo カードを手札にする。
4. プレイヤー2は、ロール（役割）として、【未知試料】となり、山札から分子カードを2枚とる。左手と右手に1枚ずつ手でもつ。

【ゲームの流れ】

1. 【化学者】は、右の問いの中から一つだけ質問する。
例：「沸点は○○℃より高い、それとも低いか？」
2. 【未知試料】は、質問に対して回答する。
例 「左手の物質は○○℃より高いが、右手の物質は低い」
3. 【化学者】は、質問の回答をメモしながら、分子の構造を推定する。分子の構造と名称がわかれば、分子名を宣言する。
4. 【未知試料】は、【化学者】の宣言に対して正解、不正解を回答する。
5. 1～4を4回まで繰り返す。もしくは構造がわからない場合は降参を宣言する。

【ロール（役割）の交代について】

次にプレイヤー1が【未知試料】、プレイヤー2が【化学者】となり、分子推定を行う。

【勝敗について】

2枚の分子カードの特定までに用いた質問数が少ないプレイヤーを勝ちとする。

【質問について】

- 問「沸点は○○℃より高い、それとも低いか？」
- 問「Labo カード○○（反応の説明△△）となりますか（反応するか）？」
（【化学者】は手札から1枚選び、反応の説明を読みあげる）
例「Labo カード硫酸 分子内脱水 アルコールに濃硫酸などの脱水剤を加えて・・・二重結合をもつアルケンとなりますか？」
例「水に溶け込み、分液ロートの下から取り出すことができますか？」
- 問「水に溶かしたとき、酸性を示すか？」

※ 互いに有機化合物を学習している生徒については、下記の質問ができます。

- 問「幾何異性体がありますか？」
- 問「不斉炭素原子がありますか？」
- 問「ヨードホルム反応は示しますか？」



— 化学で遊び、楽しく学ぶ —

ChemiStrategy

©Chemi-Shiru